

会 議 録

会議名 (付属機関等名)	令和5年 第2回 川西市子どもの人権オンブズパーソン会議		
事務局(担当課)	子どもの人権オンブズパーソン事務局 市長公室 人権推進多文化共生課 内 (内線 3453)		
開催日時	令和5年12月15日(金) 午後2時～2時25分		
開催場所	川西市役所 5階 501会議室		
出席者	オンブズパーソン	長瀬 正子(代表) 渡邊 徹(代表代行) 浜田 進士 計3名	
	調査相談専門員	平野 裕子 中村 誠吾 李 美蘭 井口 由紀子 計4名	
	事務局	加茂 一哉	
傍聴の可否	可	傍聴者数	2人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	日程1 会議録署名人の選任について 日程2 報告事項 2023(令和5)年1月～11月の相談受付状況について 日程3 協議事項 議案第3号 2023(令和5)年次の運営状況等の報告及び公表について		
会議結果	別紙審議経過のとおり		

審 議 経 過

日程 1 会議録署名人の選任について

渡邊徹オンブズパーソンが選任された。

日程 2 報告事項

2023年1月～11月の相談受付状況について

中村相談員より、2023年1月～11月の相談受付状況について、月別のケース数、相談者数（新規数・オンブズ発信数）、相談回数、相談者の内訳、相談の方法（回数）、取扱いケースにおける学齢別相談内容、相談者別の訴え内容（回数・割合）、ケースにおいて問題となっている関係（件数）などの集計表にもとづいて報告があった。

主な報告内容は、

- ・相談件数では、ケース数が54件、相談回数が610回となっており、昨年と比べるとケース数がやや増加している。
- ・相談者数では、計85人で、うち本年新規の相談者数が57人で、オンブズ発信が7人となっている。
- ・本年新規の相談者の主な内訳としては、子どもが20人、保護者等が28人となっており、その他として教職員や行政職員等からの相談もある。
- ・相談方法では、電話相談がおとな181回、子ども44回、オンブズ事務局来所相談がおとな145回、子ども62回、オンブズくらぶでの相談がおとな1回、子ども141回となっている。また、訪問による相談は、おとな27回、子ども9回となっている。
- ・相談内容の特徴としては、学齢別で見ると、小学生高学年より上の学齢で「いじめ」や「交友関係の悩み」「不登校」「進路問題」などの相談が多くなっている。一方、「教職員等の指導上の問題」や「学校・保育所等の対応」、「家庭生活・家族関係」などは、小学生低学年を含めたいずれの学齢においても相談されることが多くなっている。
- ・相談者別の訴えにおいては、子ども、おとなのいずれも、「不登校」「家庭生活・家族関係」についての相談が多く、「交友関係の悩み」については子どもからの相談が多い。また、「学校・保育所等の対応」については特におとなからの相談が多くなっており、これらはほぼ例年通りの傾向となっている。
- ・ケースにおいて問題となっている関係においても、昨年次と比べると大きな変化はないが、本年次は「家庭生活・家族関係」について相談されるケースが多く、なかでも「子どもと親・家族」の関係が問題になっているケースが増加している。

日程 3 議案 第 3 号 2023年次の運営状況等の報告及び公表について

議案説明

川西市子どもの人権オンブズパーソン条例第 20 条の規定により、2023 年次における条例運営の状況等について、市長への文書報告及び公表を行うに当たり、報告事項及びその内容について、オンブズパーソン会議の審議を経る必要があるため、本案を提出する。

協議経過

2023年次の運営状況等の報告及び公表については、「年次報告書(子どもオンブズ・レポート2023)」の章立てと編成内容(案)、及び「年次活動報告会(3月23日(土)アステホールで開催予定)」の内容企画(案)が提案された。

「年次報告書」の編成内容については、第 章で「子どもの居場所と子どもの権利」についてを掲載するほか、第 章では、過去にオンブズで相談経験のある若者へのインタビューを行った内容の報告について掲載すること、また、第 章以下については概ね例年どおりとし、事例紹介やオンブズパーソンからのメッセージ等を掲載する、といった原案のとおり編成することが、オンブズパーソンの全会一致により決定された。

一方、「年次活動報告会」については、2024年3月23日(土)にアステホールで開催すること、今年次のテーマを「オンブズパーソンが考える『子どもにやさしいまち』とは」とすること、今回からは「活動報告1」と「活動報告2」という形で構成することとし、活動報告1では、例年のオンブズパーソン制度運営の概要報告としての「2023年次の活動概要報告」に加えて、「2023年次の申立て」のほかそれぞれのオンブズパーソンからの報告を行うこと、さらに、市民の方から、もっとオンブズパーソンの考え方や意見等を聴くための十分な時間を確保してほしいという要望があったため、質疑応答の時間を含め、これら時間配分等について考慮しつつ、検討を進めていくこと、また、活動報告2として「子どもの人権オンブズパーソン制度を持つ川西市に期待していること」をテーマに、こども家庭庁アドバイザーである西崎萌さんに講演会を依頼するとともに、浜田オンブズパーソンをコーディネーターとし、西崎萌さんと長瀬、渡邊オンブズパーソンなどに参加いただき「意見交換会」を開催すること、など、年次活動報告会の内容について審議を行い、原案を基に、市民の方の意見なども参考にして実施することが、オンブズパーソンの全会一致により決定された。

以 上